

7月31日(水)

2019年(令和元年)

発行所：大阪市北区梅田3丁目4番5号
〒530-8251 電話(06)6345-1551
毎日新聞大阪本社

"手術"うまくできた？

紀和病院でキッズ医療体験



橋本

子供たちが医療施設で手術や看護などを模擬体験できるイベントが27日、橋本市岸上の医療法人南労会・紀和病院で実施された。

院であり、未就学児から中学生まで約600人が参加した。医療現場への理解を深めてもらおうと、実行委員会(梅村定司委

員長)が「キッズ医療体験」として実施し、今年で3回目。

計18の体験が用意され、ドクター体験では子供たちが電気メスで鶏肉を切開し、写真、腫瘍に見立てたビー玉を摘出。スポンジを使った縫合手術にも挑戦した。薬剤師の仕事体験では薬に見立てたあめ玉や着色水を処方箋に沿って調合した。

電気メスを扱った奈良県香芝市の小学5年、柴田珀さん(10)は、祖父が心筋梗塞の手術を受けたことがきっかけで医師の仕事に興味を持った。「手術室にはいろんな道具があり、わくわくした。将来は内科か外科医になりたい」と話した。

【松野和生】

THE YOMIURI SHIMBUN

読賣新聞

2019年(令和元年)

8月8日 木曜日

りっしょう
立秋



手術の疑似体験で、鶏肉からビー玉を取り出す子どもら(橋本市で)

ドキドキ 疑似手術に挑戦

橋本 医療体験に小中生ら600人

橋本市岸上の医療法人南労会・紀和病院で、医療設備を開放するイベント「キッズ医療体験」が行われ、小中学生ら約600人が手術の疑似体験などに挑戦した。

子どもたちに医療に関心を持ってもらおうと、同病院が企画し、7月27日に行われた。手術の疑似体験に参加した子どもたちは緊張した表情で電気メスを握り、鶏肉に埋め込まれたビー玉を取り出したり、針と糸を使ってスポンジを縫い合わせたりした。また、心臓マッサージや包帯の巻き

方なども学んだ。祖父の病気を機に医師を志すようになったという奈良県香芝市の小学5年、柴田珀さん(10)は「メスを使うのが難しかったけど、ビー玉をうまく取り出すことができてうれしい」と笑顔で話していた。